

## 第4・6学年 国語科学習指導案

日時 平成25年 10月31日(木) 5校時  
児童 4年 男子 0名 女子 1名 計1名  
6年 男子 1名 女子 0名 計1名  
指導者 佐藤 栄 小笠原 啓介

### 〈4年〉

- 1 単元名 登場人物の変化をハートカードで伝えよう
- 2 学習材名 「ごんぎつね」 新美 南吉(光村図書 4年下)
- 3 単元目標

○物語に興味を持って、ハートカードを書こうとしている。

◎場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。

○読んで考えたことをまとめ、架空の人物と交流し自分の考えと比べながら話し合うとともに一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。

○言葉は、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。

#### 4 単元について

##### (1) 児童観

児童は、「白いぼうし」や「一つの花」で、登場人物の行動や会話などに着目し、登場人物の性格や気持ちの変化を読み取ったり、場面の様子を想像しながら読んだりしてきた。これにより、読むことの指導事項「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述を基に想像して読むこと」の力がついてきている。本単元ではこの力を高めるとともに、児童がより主体的に読み取る力を身につけられるようにしていきたい。

読書については「白いぼうし」の学習において、あまんきみこさんの作品に積極的にふれ、その中から自分が面白いと思う作品を見つけたりするなど、意欲的に物語を読んだりする様子が見られた。本単元では、新美南吉さんの作品を並行読書させ、あまんきみこさんの作品とは違う雰囲気を感じとらせ、物語の世界をさらに広げられるようにしていきたい。

##### (2) 学習材観

###### ア 中心学習材

第3学年及び第4学年の「C 読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読

### 〈6年〉

- 1 単元名 絵を見て解説する文章を書こう
- 2 学習材名 『鳥獣戯画』を読む 高畑 勲(光村図書6年下)  
「この絵、わたしはこう見る」(光村図書6年下)
- 3 単元目標

○絵に興味を持ち、解説する文章を読もうとしたり、解説する文章を書こうとしたりしている。

◎絵と文章を照らし合わせながら、筆者の着眼点や表現の工夫を読み取ることができる。

◎絵の様子と解釈、感想を区別しながら書くとともに表現を工夫して書くことができる。

○文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。

#### 4 単元について

##### (1) 児童観

児童は、これまでの説明的な文章では、書かれている内容を捉えるために段落に着目したり、構成や要旨を読み取ったりする学習をしてきた。これにより、読むことの指導事項○「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」の力がついてきている。

しかし、絵と文章を照らし合わせながら読むことや、絵を解説した文章を読むことは、初めてであり、児童にとっては抵抗があると思われる。また、「書くこと」では、「生き物はつながりの中に」で学習したことをもとに並行読書で読んだ本の中から、筆者の主張に対し、自分の考えを書くことができるようになってきている。しかし、自分の考えを自分の言葉で表現することは十分にできているとは言い難い。

##### (2) 学習材観

###### ア 中心学習材

第5学年及び第6学年の「C 読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる」である。これを受けて、本単元では、内容「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係

書しようとする態度を育てる」である。これを受けて、本単元では、内容ウ「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと」と内容オ「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと」の指導事項を重視している。

中心学習材「ごんぎつね」は6つの場面で構成され、1場面から5場面までは主人公ごんの視点で書かれているので、ごんの行動や心情の変化が捉えやすい。そして、場面の展開に沿って、ごんと兵十の心情や関係も変化していくため、読みの力を育てるのにふさわしい作品である。また、生き生きとした情景描写や行動描写が多く使われているため、児童は作品の世界に入り込みやすく、想像を深めながら楽しんで読み進めることができる。

#### イ 補助学習材例

『手ぶくろを買いに』 新美 南吉 偕成社

『きつねのつかい』 新美 南吉 童心社

『でんでんむしのかなしみ』 新美 南吉 大日本図書

#### (3) 指導観

##### ア 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「登場人物の変化をハートカードで伝えよう」を単元を貫く言語活動として設定する。「ハートカード」とは、1枚目に登場人物の紹介とあらすじがあり、2枚目と3枚目は見開きで、2枚目にはクライマックス前までの登場人物の気持ちや関係、3枚目にはクライマックス後の登場人物の気持ちや関係の変化をまとめる。そして、4枚目には読み取ってきたことを生かして感想をまとめた本の紹介カードである。それを書くためには、登場人物の行動や会話、情景などに着目して、場面の様子や出来事、登場人物の気持ちや関係の変化について読み取る必要がある。従って、本単元でねらう「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基にして想像して読むこと」（読むことウ）を実現するのにふさわしい言語活動と考える。

##### イ 単元の流れ

第一次では、新美南吉作品に興味を持たせるためにあらすじを交えながら紹介する。また、第3学年教材の「モチモチの木」のハートカードのモデルを見て、単元の学習計画を立て、児童が単元全体の見通しを持って学習を進められるようにする。

第二次では、「ごんぎつね」のハートカードを作る。それぞれの場面の叙述をもとにしながらごんの置かれている状況や性格、心情の変化や兵十との関係の変化など想像し、場面の変化が分かるハートカードを作り上げていく。そして、ごんについて詳しく読んだことを生かし感想をまとめ、架空の人物と交流する活動をする。

第三次では、並行読書で読んできた新美南吉作品のハートカードを作る。その際、主人公の性格や気持ち、他の登場人物との関係の変化などを想像しながら詳しく読み取る

を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること」の指導事項を重視している。

また、「B 書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる」である。これを受けて本単元では、内容「ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」の指導事項を重視する。

中心学習材『『鳥獣戯画』を読む』は、絵に対する解説と解釈、評価が述べられている。筆者のものの見方（解釈、評価）とその対象が明確に表されているため、筆者のものの見方が捉えやすい。そのため非連続型テキスト（絵）と連続型テキスト（文章）を照らし合わせて読むという読みの方法を身につけることに適している。また、体言止めや語りかけるような表現などは、ものの見方を伝えるための筆者の工夫を学ぶことに適している。「この絵、わたしはこう見る」は、絵の構図や色彩についての解釈や感想が児童に合う表現で書いてあり、『『鳥獣戯画』を読む』とは別の観点で児童が絵を解説する文章を書く時によりどころになる学習材である。

#### イ 補助学習材例

『ひらめき美術館 第1巻・第2巻』 結城 昌子 小学館

『子どものためのアートブック その1』リチャード=フラッグマン ファイドン

『1枚の絵から 日本編』 高畑 勲 岩波書店

『鳥獣戯画 絵本画集』 西村 和子 博雅堂出版

#### (3) 指導観

##### ア 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「絵のよさを伝える解説文を書こう」を単元を貫く言語活動として設定する。解説文とは、・・・。

解説する文章を書くという言語活動は、絵に対する見方を明確にすることが大切になる。『『鳥獣戯画』を読む』で、絵に対する筆者の着眼点や評価、読み手に伝わるような表現の仕方を読み取り、理解するとともに自分の見方を考えていく。従って、本単元でねらう「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること」（読むことウ）を実現するのにふさわしい言語活動であると考え。次に「この絵、わたしはこう見る」や自分が見た本の絵の解説文を『『鳥獣戯画』を読む』で学習したことをもとに書き、自分なりの絵の見方を考え、伝えていく。

##### イ 単元の流れ

第一次では、絵の見方を示した教師のモデル文を示し、単元の学習計画を立てることで、三次への見通しを持って学習に臨めるようにする。また、補助学習材について並行

必要があることを確認する。また、ハートカードは図書館に掲示し、全校に紹介することを知らせ、相手意識を高めた学習にしたい。

本時の指導では、物語の山場を中心に各場面を関わらせて読むことにより、登場人物の気持ちの変化や関係の変化を読み取らせる。読み取る際は、架空の人物を登場させ、児童の考えを深めさせたり、気づかせたりさせていきたい。

読書を始める。

第二次では、「『鳥獣戯画』を読む」で、筆者が着目している部分や線、筆さばきについて学習し、それをほめている言葉を読み取らせる。また、読み手に伝えるための文末表現や呼びかけの工夫を読み取らせる。次に、「鳥獣戯画」の他の場面について「『鳥獣戯画』を読む」で学習したことをもとに、絵の着眼点や見方を考えさせる。それが、読み手に伝わるようにほめる言葉や文末表現等を工夫させ、解説する文章を書かせる。

三次では、二次で学習したことをもとに、「この絵、わたしはこう見る」で構図や色彩の書き方についても学習する。また、並行読書してきた本の中から絵を選び、自分で絵の見方を考えさせ、相手に伝わるような書く活動を行う。最後に、学習課程を振り返り、自分のがんばりや身に付けた力を実感できるようにするとともに、4年生に発表することで、学習意欲を高める。

本時の指導では、『鳥獣戯画』の他の場面を提示し、絵を見てこれまで学習してきた着眼点、ほめる言葉、表現の仕方を利用して、自分が思った絵の解説を書く活動をさせる。

5 単元指導計画

4年				6年			
次	時間	学習活動	主な評価規準	次	時間	学習活動	主な評価規準
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新美南吉作品に興味を持つ。</li> <li>・「モチモチの木」のモデルを見て、「登場人物の変化をハートカードで伝えよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦新美南吉作品に興味を持とうとしている。</li> <li>㊦これからの学習について、ハートカードのモデルなどから関心を持とうとしている。</li> </ul>	第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が書いたモデル文を見て、イメージを持つ。</li> <li>・「『鳥獣戯画』を読む」を通読し、文章の大体を捉える。 (並行読書を始める)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦これからの学習について、解説文のモデルなどから関心を持とうとしている。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごんぎつね」の文章構成を捉える。(カードに貼り付ける)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦物語の文章構成を捉えている。</li> </ul>		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵と文章を照らし合わせ、筆者が着目している点を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦筆者が着目しているところを読み取っている。</li> </ul>
第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物を捉え、あらすじをまとめる。(カードに貼り付ける)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦登場人物を捉え、あらすじをまとめることができる。</li> </ul>	第二次	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の見方を読み手に伝えるための筆者の表現の工夫や構成を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦筆者の表現の工夫や構成を読み取っている。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんの立場から兵十に対する思いと関わりを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ごんの立場から、兵十に対する思いと関わりを読み取ることができる。</li> </ul>		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が絵をほめている言葉を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦筆者が絵をほめている言葉(評価語彙)を読み取っている。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵十の立場からごんに対する思いと関わりを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦兵十の立場から、ごんに対する思いと関わりを読み取ることができる。</li> </ul>		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『鳥獣戯画』の他の場面について絵から分かること、ほめるところを付箋紙に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦絵から分かること、ほめるところを付箋紙に書いている。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごんと兵十の気持ちの変化や関係の変化を読み取る。(カードに張り付ける)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦ごんと兵十の気持ちの変化や関係の変化を読み取ることができる。</li> </ul>		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『鳥獣戯画』の他の場面について解説する文章を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦『鳥獣戯画』の他の場面について解説を書いている。</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートカードを読み返し、ごんの行動や気持ちの変化を捉える。</li> <li>・架空の人物の感想と比べる。(カードに貼り付ける)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦架空の人物の感想と比べ、感じ方には違いがあることに気付くことができる。</li> </ul>		6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「この絵、わたしはこう見る」について例文を参考にしながら絵の解説を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦「この絵、わたしはこう見る」の絵の解説を書いている。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新美南吉作品から一つを選び、ハートカードを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦前時までの学習を生かして、主人公を紹介するハートカードを作ることができる。</li> </ul>		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをする。</li> </ul>	
第三次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新美南吉作品から一つを選び、ハートカードを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦前時までの学習を生かして、主人公を紹介するハートカードを作ることができる。</li> </ul>	第三次	1		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートカードを発表する。</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通してできるようになったことや分かったことなどをまとめている。</li> </ul>	2				
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートカードを発表する。</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通してできるようになったことや分かったことなどをまとめている。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りをする。</li> </ul>		

## 6 本時の指導

### (1) 目標

○登場人物の行動や会話に着目し、気持ちの変化や関係の変化を読み取ることができる。

### (2) 評価

4年		3年	
主な評価規準	支援	主な評価規準	支援
図登場人物の行動や会話に着目し、気持ちの変化や関係の変化を読み取っている。	・架空の人物の考えを示し、気づかせる	国筆者の書き方を参考にしながら、絵の解説を書いている。	・解説に生かす観点の中からどの言葉が合うか架空の人物の表現を示し、気付かせる。

### (3) 展開

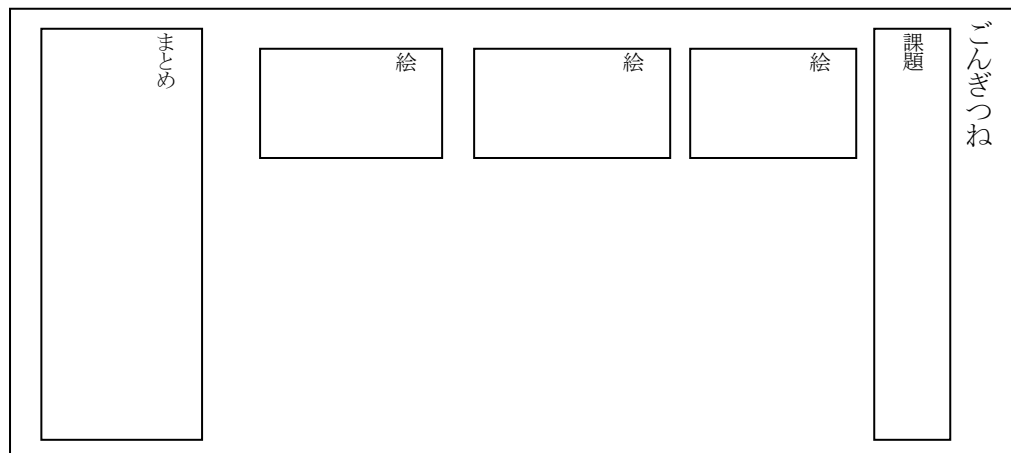
2年			3年		
・準備 *ポイント	学習活動	形態 段階	学習活動	・準備 *ポイント	
*学習計画を確認し、本時がどの段階にあるのかを確かめる。	1 前時を想起する (7分) (1) 小テスト (2) 学習内容の確認 2 課題を把握する (3分)	つ か む 10 分	1 前時を想起する (7分) (1) 小テスト (2) 学習内容の確認 2 課題を把握する (3分)	*学習計画を確認し、本時がどの段階にあるのかを確かめる	
*今日のめあてを確認し、本時の学習の見通しをもたせる。	3 視点を確認する		3 視点を確認する	*今日のめあてを確認し、本時の学習の見通しをもたせる。	
*架空の人物によって気づかせる。 ・学習の進め方 ・ハートカードのモデル ・架空の人物の考え	4 課題解決の取り組み (1) 前の場面までのごんと兵十の気持ちや関係について確認する。(5分) (2) 出来事を整理しながら、登場人物の心情と関係をまとめる。(15分) ・ごんはなぜ「引き合わない」と思いながらも栗を持って行ったのか。 ・ごんを見つけた時の兵十の気持ち。 ・栗を持って来てくれていたのがごんだと気づいた時の兵十の気持ち。	た し か め る 25 分	4 課題解決の取り組み (1) 本時の学習の進め方を知る。(2分) (2) 筆者の着眼点、ほめる言葉、表現の仕方を確認する。(3分) (3) 「鳥獣戯画」の解説を書く。(15分) (4) 自分の考えと架空の人物の考えを交流する。(5分)	*筆者の着眼点、ほめる言葉、表現の仕方を示す。 *書き方のモデルを参考にしながら、自分の考えを書いていくことを確認する。 ・筆者の着眼点、ほめる言葉、表現の仕方 ・架空の人物の考え	

### (1) 目標

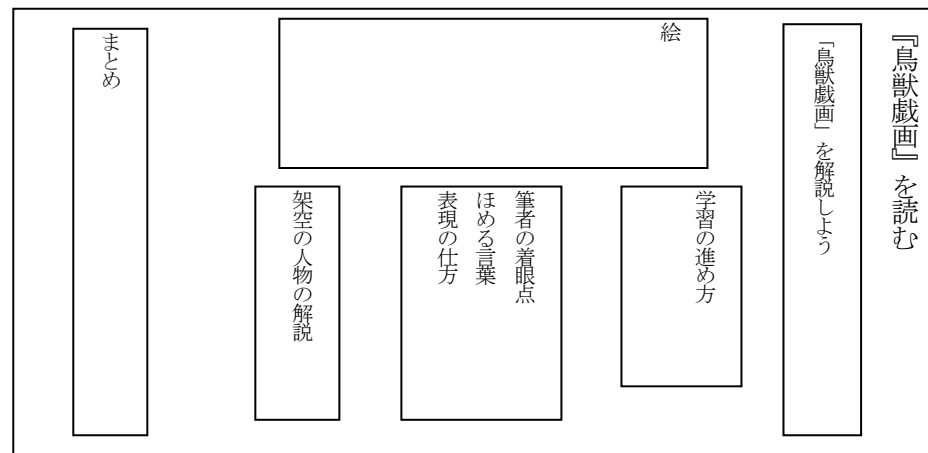
○筆者の着眼点、ほめる言葉、表現の工夫を生かして「鳥獣戯画」を解説する文を書くことができる。

<p>○登場人物の行動や会話に着目し,気持ちの変化や関係の変化を読み取っている。</p> <p>※支援 架空の人物の考えを示し,気付かせる。</p>	<p>・うなずいたごとと気がついた兵十の関係はどのように変わったのか。</p>	たしかめる	たしかめる	<p>○筆者の着眼点、ほめる言葉、表現の工夫を生かして「鳥獣戯画」を解説する文を書いている。</p> <p>※支援 解説に生かす観点の中から,どの言葉が合うか架空の人物の表現を示し,気付かせる。</p>
<p>*本時で,学んだことを発表させる。</p>		まとめる 5分	まとめる 5分	<p>5 まとめる</p> <p>・本時の学習で分かったことについて発表する。</p> <p>*本時で学んだことを発表させる。</p>
<p>*次時の内容を簡単に確認する。</p>	<p>6 学習を振り返る</p> <p>・学習の振り返りをし,発表する。 (6年生と)</p> <p>7 次時の学習について知る</p>	振り返る 5分	振り返る 5分	<p>6 学習を振り返る</p> <p>・学習の振り返りをし,発表する。 (4年生と)</p> <p>7 次時の学習について知る</p> <p>*次時の内容を簡単に確認する。</p>

<4年>



<6年>



## 「ごんぎつね」並行読書 ブックリスト

### (新美南吉作品やきつねの話)

- 1 てぶくろを買いに 新美南吉 偕成社
- 2 あめだま 新美南吉 につけん教育出版社
- 3 にひきのかえる 新美南吉 新樹社
- 4 狐 新美南吉 偕成社
- 5 きつね マーガレット・ワイルド BL 出版
- 6 でんでんむしのかなしみ 新美南吉 大日本図書
- 7 こどものすきなかみさま 新美南吉 大日本図書
- 8 でんでんむし 新美南吉 大日本図書
- 9 ひろったらっぱ 新美南吉 につけん教育出版社
- 10 木の祭り 新美南吉 につけん教育出版社
- 11 赤いろうそく 新美南吉 につけん教育出版社
- 12 うまやのそばのなたね 新美南吉

につけん教育出版社

## 『鳥獣戯画を読む』『この絵、わたしはこう見る』

### 並行読書 ブックリスト (名画の評価を伝える本)

- 1 ひらめき美術館 第1巻 結城昌子 小学館
- 2 ひらめき美術館 第2巻 結城昌子 小学館
- 3 子どものためのアートブック その1  
リチャード・フラッグマン ファイドン
- 4 1枚の絵から 日本編 高畑勲 岩波書店
- 5 鳥獣戯画 絵本画集 西村和子 博報堂
- 6 日本の画家 糸井邦夫 汐文社